



長浜 成仁 議員(政友みらい)
第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

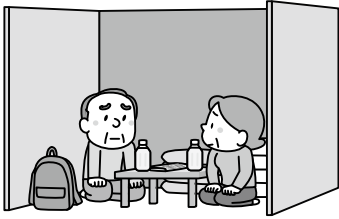


Q 昨今の激甚化する自然災害への対策は欠かせない。中山間地域の防災・減災対策に関する本市の課題と今後の取組について伺いたい。

A 行政経営部長

中山間地域の防災・減災対策に関する課題としては、災害発生初動期における情報通信手段の確保、孤立集落に対する救助、避難物資供給、高齢者等の避難生活、土砂災害への対応などがあります。特に高齢者等の避難生活に係る具体的な対応については、軟らかく温かい食事を提供することができる備蓄食の検討、災害協定に基づき公的宿泊施設、旅館等への一時避難が可能となるスキームの検討、ストレスによる精神的ケア体制の構築など、安心して避難していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問
☆中心市街地の活性化について



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)
佐野市のスマートシティ構想について



Q 4月の市長選挙において、市長が公約に掲げたスマートシティの導入研究に向けた市長の考えと、将来ビジョンについて伺いたい。

A 市長

現在、佐野市が進めているスマートシティ構想においては、市民の皆様が安心して健康増進、市民主導型の効率的な行政運営の推進を柱としており、ビッグデータやデジタル先端技術の活用により、昨今の新型ウイルスや人口減少問題、それに伴う地域間格差や世代間格差、災害リスクなどの解消を図っていきたいと考えています。

また、現在策定作業を進めている総合計画中期基本計画にも、具体的な事業をしっかりと位置づけることで、進化する佐野市、選ばれる佐野市の実現につなげていきたいと考えています。



▲ 市役所に設置された非接触型対応システム



春山 敏明 議員(新風)
公共交通空白地域解消とフルーツ吾妻線について



Q 佐野市地域公共交通再編実施計画では、デマンド交通の実証運行の実施に当たり、利用状況を把握し、見直しや利用促進に取り組むため、見直し基準及びフローを示している。見直し基準の設定や見直し実施フローについて伺いたい。

A 市民生活部長

デマンド交通の効率的な運行を図るため、見直し基準として稼働率が50%以上稼働した便の平均利用人数が2人以上としており、基準値を満たさない場合は運行区域や運行日数等の見直しを検討することとしています。令和2年度のフルーツ吾妻線では、稼働率が21.4%、稼働した便の平均利用人数は141人でした。こうした状況や、隣接する植野地区の一部が公共交通空白地域であることを踏まえ、フルーツ吾妻線の運行区域を植野地区の一部まで拡大した運行ができないか検討を進めています。

その他の質問
☆市内に潜在する交通危険箇所から子どもを守る対策強化について